

教科	英語	学年	第1学年	担当者	杉本 優佳
----	----	----	------	-----	-------

【教科目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す。

【使用教科書・教材等】

- ・教科書（「SUNSHINE ENGLISH COURSE 1」開隆堂） ・授業用ノート（A4/10段または13段が望ましい）
- ・英語のワーク1 ・ファイル

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	Get Ready	・聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい国などについて、話したり書いたりすることができる。 ・友達との対話や先生へのインタビューを通して、即興でやり取りをすることができる。	教科書 ノート ワーク ファイル
	Program 1 友だちを作ろう	・be動詞（肯定・否定・疑問）の用法を理解し、自己紹介をすることができる。 ・whereの疑問文の用法を理解し、海外の有名になりきって表現することができる。	
	Program2 1-Bの生徒たち	・一般動詞（肯定・否定・疑問）や複数形の用法を理解し、好きなことやふだんすることを表現することができる。 ・whenの疑問文の用法を理解し、相手の好きなものなどをたずね、伝え合うことができる。	
	Program3 タレントショーを開こう	・can（肯定・否定）の用法を理解し、できることやできないことを表現することができる。 ・canの疑問文の用法を理解し、できることや何をできるのかをたずね、伝え合うことができる。	
	Our Project1 あなたの知らない私	・即興で相手にわかりやすく自己紹介をしたり、自分のスピーチ原稿を正しく書いたりすることができる。	
2 学 期	Program4 Let's Enjoy Japanese Culture.	・This [That / It] is～.（肯定・否定・疑問）の用法を理解し、文房具の持ち主を当てることができる。 ・whoの疑問文や人称代名詞の用法を理解し、絵の中の人物について表現することができる。	教科書 ノート ワーク ファイル
	Program5 The Junior Safety Patrol	・三人称・単数・現在（肯定・否定）の用法を理解し、身近な人のことについて表現することができる。 ・三人称・単数・現在（疑問）の用法を理解し、あるキャラクターについて表現することができる。	
	Program6 The Way to School	・him, herの用法を理解し、好きなキャラクターについて表現することができる。 ・whyの疑問文、Because～.の用法を理解し、好きな映画を表現することができる。	
	Program7 Research on Australia	・There is [are] ～.の用法を理解し、自分の住んでいる地域にあるものについて表現することができる。 ・howの疑問文の用法を理解し、学校に来る手段について表現することができる。	
3 学 期	Our Project2 この人を知っていますか	・マッピングを見ながら紹介したい人のことを即興で話したり、友達の前稿を読んで即興でやり取りしたりすることができる。	教科書 ノート ワーク ファイル
	Program8 The Year-End Events	・現在進行形（肯定・否定）の用法を理解し、そら描きしているものを表現することができる。 ・現在進行形（疑問）の用法を理解し、ジェスチャーしているものを表現することができる。	
	Program9 A Trip to Finland	・一般動詞の過去形（規則変化・不規則変化）の用法を理解し、週末にしたことについて表現することができる。 ・一般動詞の過去形（疑問・否定）の用法を理解し、3日前にしたことについて表現することができる。	
期	Program10 Grandma Baba's Warning Ideas!	・be動詞の過去形の用法を理解し、好きな教科書のPROGRAMについて表現することができる。 ・be動詞の過去形（疑問・否定）の用法を理解し、先週末にしたことについて表現することができる。 ・過去進行形の用法を理解し、昨日の夜9時にしていたことについて表現することができる。	教科書 ノート ワーク ファイル
	Our Project3 私が選んだ1枚	・マッピングを見ながら選んだ写真や絵について即興で話したり、相手に質問したりすることができる。	

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	単元テスト、小テスト、インタビューテスト、課題 など	単元テスト、パフォーマンステスト、レポート・作品 など	活動の観察、パフォーマンステスト、レポート・作品 など

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ① 英語の学習では、「聞く」「読む」「書く」「話す（やり取り・発表）」力をバランスよくつけていくことが大切です。
- ② そのためには、耳、口、目、手を使って、習ったことを繰り返し復習しましょう。
- ③ 新しく出てきた単語や文の発音は、授業中に先生やリスニングCD、i-padの発音をよく聞いて、繰り返し音読して覚えましょう。
- ④ 授業中は、間違いを恐れずに、積極的に発表しましょう。学習についてわからないことは、遠慮なく質問してください。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ① 授業で習った英文、英単語を何度も音読筆写しましょう。
- ② 間違いをそのままにせずしっかりとやり直しましょう。
- ③ 英語の歌を聞いたり、海外の映画を英語で見るなど、英語に触れる機会を作りましょう。